

2007年5月14日

報道機関各位

2007年度 道内新入社員意識調査＜要旨＞ 北海道生産性本部

北海道生産性本部（会長 濱田 賢一）では、（財）社会経済生産性本部と共同で2007年度の新入社員を対象とした「若者意識アンケート」を実施し、集計・分析のうえ、全体分については、4月25日付けで（財）社会経済生産性本部から調査結果を公表しているところです。

今回、当本部では更にこの調査データの中から道内分を抽出し、道内と道外の新入社員の意識の比較ならびに今年度と昨年度の道内新入社員の意識の比較を試みました。

つきましては、以下のとおり、本調査結果をご報告申し上げますので、次世代を担う新入社員についての情報として、ご活用賜りますれば幸甚に存じます。

記

1. 調査方法：

道内データについては、2007年3月～4月に実施した当本部主催の新入社員研修時および調査依頼企業内の新入社員研修時に「若者意識アンケート」を配布し、回収した961通について集計・分析した。（道内データ回収率92.3%、比較対象道外データ1,613通）

※各設問の未回答者分は削除してあります。

2. 添付書類：

(1) 本調査結果要旨（本紙含め4ページ）

「今年度の道内と道外の比較」および「道内の今年度と昨年度の比較」について、特に違いのあった調査結果を纏めております。

(2) 集計表（7ページ）：全ての設問データを掲載しております。

(3) 属性（1ページ）：調査対象者の属性（性別・年齢など）を掲載しております。

【お問い合わせ先】

北海道生産性本部 事業推進部

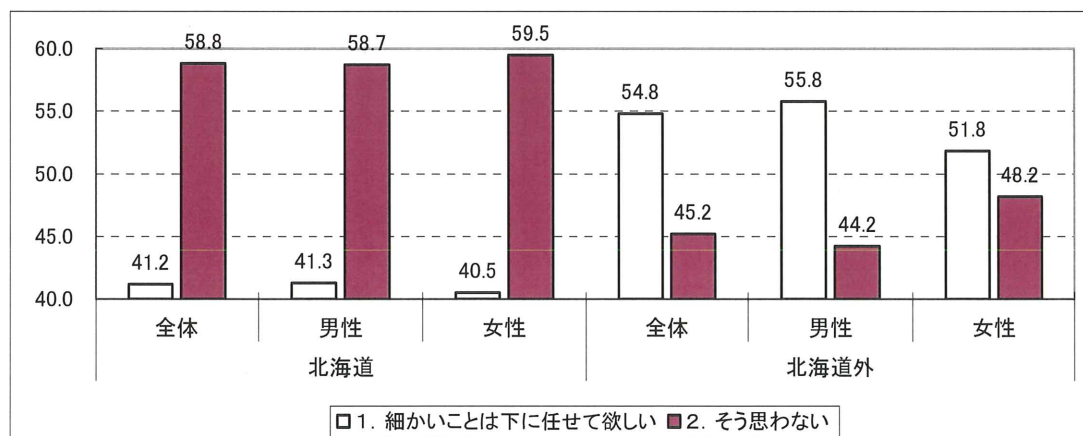
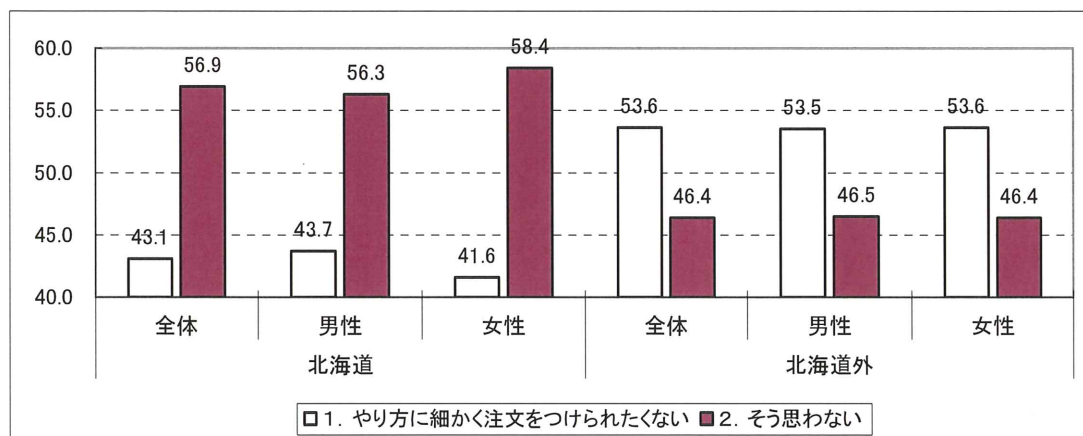
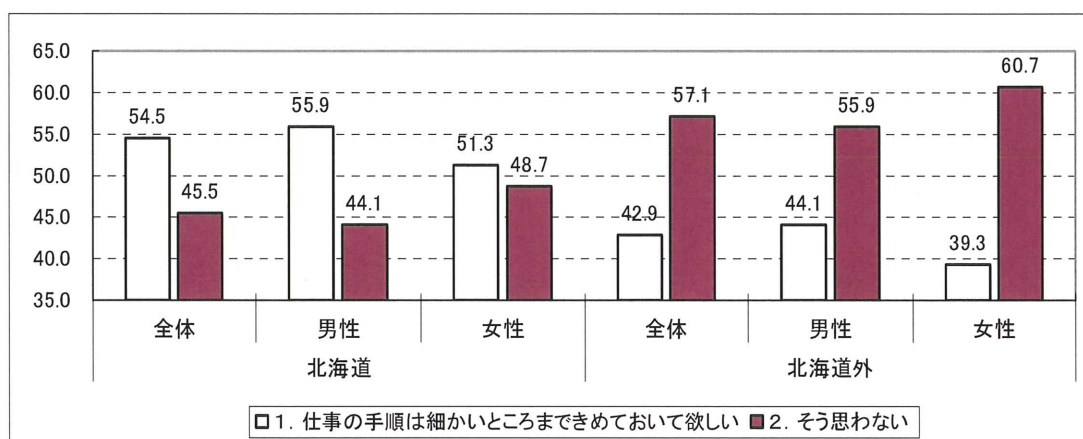
担当：澤田（TEL 011-241-8591 FAX 011-241-3898）

3. 調査結果要旨：

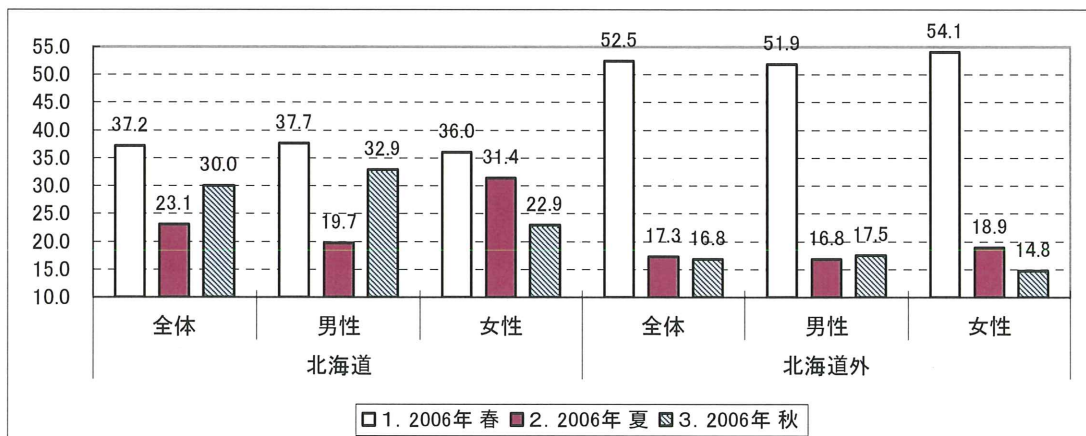
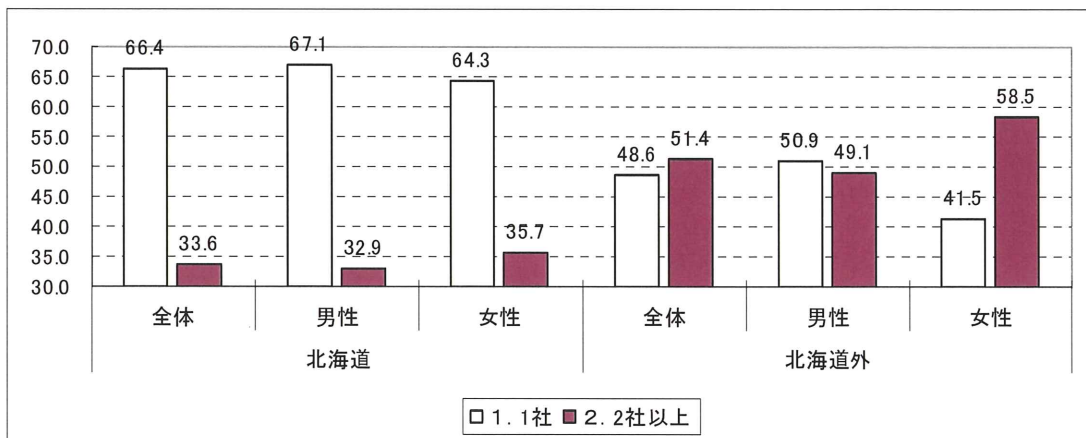
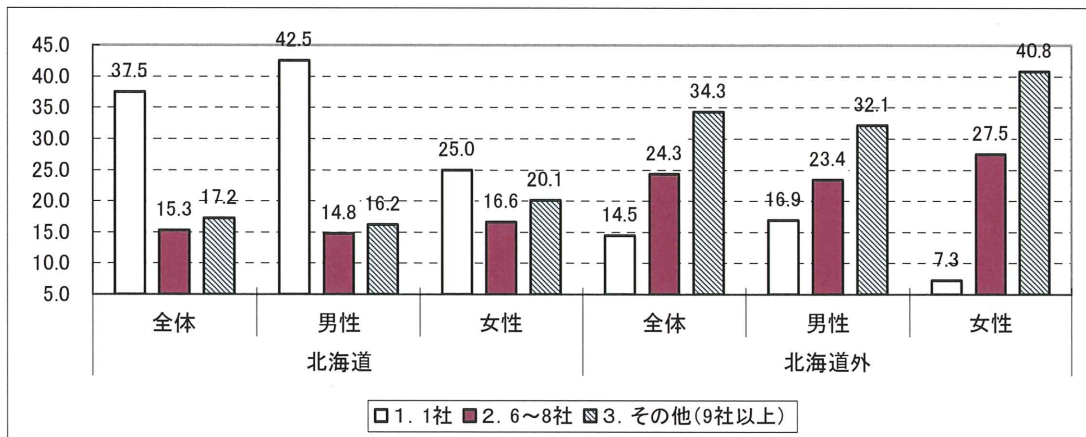
(1) 今年度の道内と道外の比較

①仕事について、「細かいところまで決めておいて欲しい」が道内 54.5%、道外 42.9%、「そう思わない」が道内 45.5%、道外 57.1%、「やり方に細かく注文をつけられたくない」が道内 43.1%、道外 53.6%、「そう思わない」が道内 56.9%、道外 46.4%、また、上司について、「細かいことは下に任せ、いつも大きな目で仕事を見ていて欲しい」が道内 41.2%、道外 54.8%、「そう思わない」が道内 58.8%、道外 45.2%となり、いずれも意識の逆転が見られる。

<Q7(b),(c),(g)>

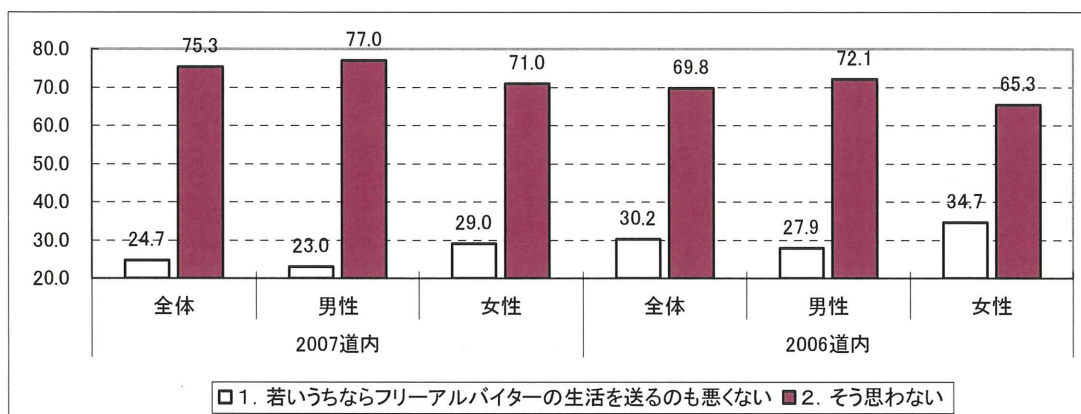


②就職活動について、「訪問した会社数」は、「1社」が道内 37.5%、道外 14.5%、「6～8社」が道内 15.3%、道外 24.3%、「その他(9社以上)」が道内 17.2%、道外 34.3%となり、道外について複数社訪問する割合が高くなっており、「内定が出た会社数」については、「1社」が道内 66.4%、道外 48.6%、「2社以上〔「その他(5社以上)」を含めた合計値〕」が道内 33.6%、道外 51.4%となり、道外について複数社の内定が半数以上を占めている。また、内定時期については、「2006年春」が道内 37.2%、道外 52.5%、「2006年夏」が道内 23.1%、道外 17.3%、「2006年秋」が道内 30.0%、道外 16.8%となり、道外について春に内定が出る割合が半数を超えた。〈Q10(b),(c),(d)〉



(2) 道内の今年度と昨年度の比較

- ①フリーターについて、「若いうちならフリーアルバイトの生活を送るのも悪くない」が今年度 24.7%、昨年度 30.2%、「そう思わない」が今年度 75.3%、昨年度 69.8%となり、フリーターについての肯定的な意見の減少傾向が見られる。〈Q7(d)〉



- ②転職について、「条件の良い会社があれば、さっさと移る方が得だ」が今年度 21.9%、昨年度 26.5%、「そう思わない」が今年度 78.1%、昨年度 73.5%、また、「今の会社に一生勤めようと思っている」が今年度 57.2%、昨年度 49.7%、「きっかけ、チャンスがあれば、転職しても良い」は今年度 24.8%、昨年度 32.8%となり、転職について否定的な意識の増加傾向が見られる。

〈Q7(e),Q9(c)〉

